

一級建築士に直接お届けする建材特集マガジン

2021
Vol. 15

CLASS1

ARCHITECT



建築家 西澤徹夫

痕跡を活かすクリエイティブ建材とは。

京都市京セラ美術館

建築士みなさまへ

建材流通業者様
建材メーカー様に

「建築建材デジタルプロモーション協会」を
紹介していただけますか？

建築士様がかかえる

建材の違いや魅力が
分かりにくい

仕様確認や手配に
手間がかかる

見積や納期を
すぐに知りたい



といったお悩みは

建材営業DXで解決できます

マルチタスクをこなす
建材営業マンを完全サポート

実は建材業界の営業マンは、想像よりも多くのタスクを一人で抱えています。そのため、コスト削減や営業力強化を図っても、全てを完璧にこなすのは大変です。



- ✓ 知らなかった**新しい建材・メーカー**と出会える
- ✓ 欲しい建材の**カタログやサンプル**がすぐ手に入る
- ✓ 電話一本で**当日中に制作可否や見積の回答**がくる
- ✓ 夜間休日でも建材を**ネットでオーダー注文**できる

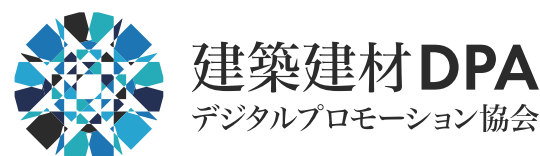
建材営業DXによって、
建築士様のスムーズな建材選びを
お手伝いします。



建築建材DPA
デジタルプロモーション協会
Materials Digital Promotion Association

建築建材DPAには、
建築士様と建材営業マン、
両者の架け橋となるサービスが、
揃っています。

提供サービスを
一部ご紹介



建築建材DPA
デジタルプロモーション協会

ウェブサイトから
のお問合せはこちら

建築建材 DPA

検索

 <https://architecture-dpa.com/>



お電話での
お問合せはこちら
担当：橋本・平岡

 **0120-58-0151**

受付時間 平日 9:00-18:00

運営：OOKABE Creations 株式会社
住所：〒910-0851 福井県福井市米松2丁目24-8
FAX：0776-43-0639
MAIL：info@ookabe-creations.co.jp

主役は建材。

著名建築家が選りすぐりの建材を
アクティブに紹介する
建材特集マガジン

CLASS1 ARCHITECT

一級建築士に直接お届けする建材特集マガジン

Vol. 15

痕跡を活かすクリエイティブ建材とは。

建築家 西澤徹夫

06 京都市京セラ美術館

- ・旭ビルウォール株式会社 「GRC」
- ・日本興業株式会社 「テセラ エコロアクア」
- ・株式会社 安東陽子デザイン 「カーテン」

15 ARCHITECT'S Q&A

聞きたくても聞けない、建築家が出合った特別な建材を一挙ご紹介！



THIS ISSUE'S CLASS1 ARCHITECT

著名建築家が実際に使用した建材を紹介するCLASS1 ARCHITECT。
今回は西澤徹夫建築事務所の西澤徹夫氏にご登場いただき、
建築にまつわる想いを伺いました。

建築家になったきっかけは？

小学生の頃の夢は漫画家か画家でした。芸大にも漠然と憧れを持っていたのですが、絵だと仕事にするのが難しいだろうと諦めかけていたんです。絵からプロダクトデザインやスケールの大きな建築に興味に移っていったところ、芸大に建築学科があることを知り、進学しました。建築の分野に進みましたが、アートや芸術は今でも好きだし、常にアーティストへのリスペクトを持っています。美術館を手掛けることが多いのも、どこかリンクしていると思っています。

好きなアートは？

現代アートは好きなのでよく見に行きます。素材や色の使い方から建築をつくる時の考え方、ものの見せ方、ものをつくる時の論理の組み立てまですごく影響を受けているし、そういうものは好きですね。建築とアートは手段は違えど、時代を並走している者同士、相互に影響しあっていると常々感じています。

これからチャレンジしたいことは？

公共建築はできるだけやってみたいと思っています。「京都市京セラ美術館」のような改修案件もこれからは増えてくるはずです。ノスタルジーな意味での保存では



なく、その建物をどのように残すか、活用するかを考えることは、「現代とは何か？」を考えるきっかけにもなるはず。昔と今を結びつける考え方が着地するのは、やはり改修やリノベーションかなと思っています。寺社仏閣の改修なども難しそうですが、面白いチャレンジになると思うのでやってみたいですね。

西澤徹夫 NISHIZAWA TEZZO

建築家（一級建築士）

- 1974 京都府生まれ
- 2000 東京芸術大学修士課程修了
- 2000-2005 青木淳建築計画事務所勤務
- 2007 西澤徹夫建築事務所開設
- 2011-2013 東京芸術大学非常勤助手
- 2014-2015 日本大学非常勤講師
- 2014-2016 東京理科大学非常勤講師
- 2015- 日本女子大学非常勤講師
- 2016- 東京芸術大学非常勤講師

●受賞歴

- 2020 第8回京都建築賞（京都市京セラ美術館）
グッドデザイン・ベスト100（京都市京セラ美術館）
第30回 AACA 賞（京都市京セラ美術館）
第62回 毎日芸術賞（京都市京セラ美術館）
優秀建築選2020 JIA 日本建築大賞（京都市京セラ美術館）
- 2021 日本建築学会賞（作品）（京都市京セラ美術館）

●主な作品

- 2019 京都市京セラ美術館（京都市美術館）
- 2020 八戸市美術館（2021 年秋開館）



痕跡を活かすクリエイティブ建材とは。

京都市京セラ美術館

つくり手の痕跡を残し歴史を積層する 次世代に求められる保存のあり方

「京都市京セラ美術館」は、京都市左京区の岡崎公園内に位置する、日本最古の公立美術館だ。1933年に開館以降、およそ80年にわたり親しまれてきたが、老朽化や耐震性の問題などから改修・増築が行われた。プロジェクトの要となったのが「保存と活用の両立」。文化財的な価値のある建物を、時間を止めたように保存するのではなく、現代のニーズに合うように活用するのが今回の目的だ。50年後、100年後に現在とニーズが変わり、仮に完全に元の状態に戻すことになった時も、今回の改修の履歴がわかるようにした。「その時担当した設計者の痕跡を残すことで、新たに関わる建築家も建物が歩んできたこれまでの歴史にアプローチできる。思考が積層

されること、それが本当の意味での保存ではないか」と西澤氏は語る。

今回の改修で新設したものといえば、「ガラス・リボン」だ。かつて下足室だった地下1階を新しいエントランスにすることで、自然と来館者を招き入れる構造となった。正面玄関と前庭の境目に生まれた断層のような隙間にガラスをはめ込み、新たな空間が現れたことを表現。外からも中央ホールの大空間への階段が見通せるようになっている。夜になるとライトアップされることによって、本館の建物がまるで「ガラス・リボン」の光の帯の上を浮遊しているようにも見える。ファサードのレンガタイ

ルに対比した素材としてガラスを選択したことで、より建物の重厚さが際立つ効果が生まれた。

設計者以外にも文化庁や美術団体など多くの関係者の意見集約が求められるなかで、景観都市・京都における保存のあり方を見つめ続けた西澤氏。京都工芸繊維大学の石田潤一郎名誉教授や京都大学の門内輝行教授などの応援やアドバイスを得て、美術館の保存と活用は成し遂げられた。これまで関わった者たちの知恵や思いは風化することなく、未来への糧として建物の歴史とともに積み重なっていく。



京都市京セラ美術館

所在地	京都府京都市
設計	青木淳・西澤徹夫設計共同体(基本設計・監修) 松村組・昭和設計(実施設計)
施工	松村組



本館にマッチする色味を模索

GRCは強度が高く、さまざまな色や造形が可能なため、外壁をはじめ建物の幅広い箇所で活躍する建材だ。「京都市京セラ美術館」では、本館の東側に誕生した新館「東山キューブ」の外壁部分に使用した。西澤氏は特に色味にこだわり、「本館と並んだ時に増築した新館が浮かないよう、建物同士が調和するような色の調整に苦労しました」と語る。外壁は黄色みがかったやわらかなオレンジ色だが、光が反射することで陰影がつき、ゴールドやグレーのようにも見える。新しい建物にもかかわらず遠目から新館を眺めると、まるでずっと前からその場所にあったかのような趣きを見せるのも、細かい色の調整による効果である。京都は借景を重んじる文化があるため、西澤氏は景観のなかでの建物の見え方にも配慮した。まちのあらゆる場所から美術館を眺めても、京都のまちに溶け込んでいるのがわかるはずだ。

GRCの特徴

01 錆びない

GRCは、コンクリートを耐アルカリガラス繊維で補強した「ガラス繊維補強セメント」。鉄筋による補強ではないため錆が原因の劣化やメンテナンスの心配がない。

02 自由な形状と仕上げ

型枠に流し込んで成形するだけでなく、吹付けて成形するなど特殊な成形方法も可能。造形性に優れるほか、表面の仕上げ方もコンクリートと比べて自由度が高い。

03 軽量で施工も容易

鉄筋のかぶりを確保する必要がないため、強度を維持しつつ省スペース化・薄肉軽量化。運搬・施工が容易になるだけでなく、構造躯体の負担も少ない。

西澤さん、 なぜこの建材を採用したのですか？



メーカーの技術力と細やかな対応力

京都は景観的な規制が厳しく、外壁に金属を使うことを景観審議会で規制されています。窯業系のタイルやコンクリートなら問題ありませんが、すでに本館でタイルを使っていることから、新館では新しい素材を使いたいと考えており、GRCを採用しました。旭ビルウォールさんは前職の青木淳事務所の頃から知り、「青森県立美術館」や「ルイ・ヴィトン」等のハイブランドショップの外装も手掛けているなど、外装エンジニアリングとしての技術力はお墨付き。工場に足を運んで細かい部分を要望しても対応してくださるので、信頼しています。今回は本館が特徴的な色のタイルだったので、それに調和するようデザインも細かく調整していただきました。



メーカーさんへ聞いた / 建材開発秘話

お話を伺ったのは…
村上哲也さん



GRCにしかできない仕上げを

「東山キューブ」では焼き物特有の手作り感を出すため、色の調整だけでなく製造方法も検討しています。GRCを型枠から外した後は極力補修を加えないことで、エッジにシャープな凹凸感が出るよう工夫しました。また、パネルに“荒れ感”を表現するため、本来コンクリート製品にとっての不具合といえるピンホールをあえてつくり出しています。穴を5mm程度の大きさに調整し、ある程度規則的な間隔でつくるのは難題でしたが、蓄えた知見を最大限に活かして自然な仕上がりにできました。



旭ビルウォール株式会社

〒111-0036 東京都台東区松が谷1-3-5 JPR 上野イーストビル8F
TEL 03-5806-3110 FAX 03-5806-9688
URL www.agb.co.jp/





西澤さん、
なぜこの建材を採用したのですか？



建築家のニーズを叶える豊富な種類

スロープ部分の建材は、珍しいテクスチャーのものを探していましたが、全体を見た時に、建物と地面が同じ世界観のなかで調和するよう、建物のファサードやガラス面との相性を最も重要視しました。インターロッキングブロックは大手のメーカーである日本興業さんのものを採用。本館の色味に合うよう、発色が良く光の当たり具合でやわらかいピンクや薄紫に見えるニュートラルな色で、滑りにくく安全性の高いものを選びました。建築家は建物全体を見ながら機能性や意匠性を考えるので、形状や色、質感など種類が豊富にあるのは良いですね。今回初めてこの建材を使いましたが、仕上がりに大変満足したので、現在建設中の「八戸市美術館」でも採用しました。



高い施工技術により実現した滑らかなスロープ

インターロッキングブロックは舗装ブロックとして幅広い用途で使用されており、施工方法によって多彩な表現が可能だ。本館前のエリアは、「ガラス・リボン」に沿って地下のエントランスに続くゆるやかなスロープが続き、回遊と交流を生み出す広場にもなっている。スロープ部分には、グリッドが際立たない細長い形状の「テセラ エコロアクア」を採用。建物に対して水平や垂直といった方向性が出ないよう、ヘリンボーン貼りにした。スロープ部分は3m毎に排水のための溝が入る構造になっているが、溝があることを感じさせないような滑らかな勾配を意識した施工が、スロープの美しさを際立たせている。「地味な部分ではあるが、境界を感じさせず、まるで一枚の大きなプレートのように美しい仕上がりになった」と語る西澤氏。自然と人々を導くスロープは、美術館へのアクセスをさらにスムーズにした。

「京都市京セラ美術館」の テセラ エコロアクアの特徴

01 珍しい質感を表現

「今までに見たことがなく珍しい」と西澤氏が評した独自の色やテクスチャーは、表面に小さな鉄の玉を機械で叩きつけ、中の天然骨材の色を見せることで表現している。

02 イメージに沿えるよう繰り返し調色

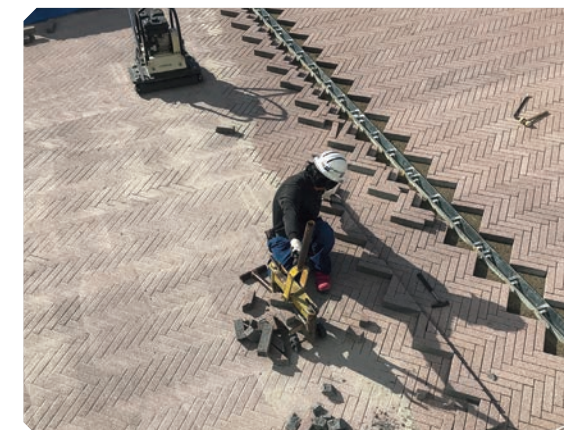
既存カラーから西澤氏のイメージに近いものをピックアップ。それをベースに、色調やトーンを微妙に変えたグレー・暖色系のサンプルを多数製作し色調整を行った。

03 全国の専門施工業者と連携

細長いブロックを斜めに貼り合わせられるよう、端部のカット処理や納まりを工夫。各地域に広がる施工業者とのネットワークを活かし、施工まで丁寧に対応した。

メーカーさんへ聞いた / 建材開発秘話

お話を伺ったのは…
藤谷康さん



全体の仕上がりを考慮した工夫

「テセラ エコロアクア」のようなコンクリートブロックは、製造時の湿度や気温によって同じ原料・同じ配合でも微妙に色の違いが起きます。「京都市京セラ美術館」では一色のブロックを広範囲に使用しており、製品一つひとつの色ムラが現場の仕上がりに大きく影響することが予想されました。そのため、出荷時にはあらかじめ製造しストックしておいた製品をランダムに出荷。製造時期による色の違いが目立たないよう工夫をしました。

日本興業株式会社

〒769-2101 香川県さぬき市志度4614-13
TEL 087-894-8130 FAX 087-894-8121
MAIL fujitaniyasusi@ms.nihon-kogyo.co.jp URL www.nihon-kogyo.co.jp/





建物に豊かな表情を加える繊細な三層構造

本館の「ガラス・リボン」は西側に面しているため、ガラスの後ろには日除けのためのカーテンが設置されている。カーテンは、薄い紗のような二重の層と、すだれのような経糸(たていと)だけで構成された三層構造。カーテンを閉じるとテキスタイルの重なりによって縦縞の影を落とし、広げるとドレープや経糸の動きによってさまざまな表情を見せるのが特徴だ。館内からはプライバシーが守られつつもうっすらと外の気配が感じられ、立体的なレイヤーによって強い日射もやわらかく防ぎながら煌めく。この構造が決まるまで、西澤氏は何度も安東氏と現場で試行錯誤を繰り返しながら、ディスカッションを重ねたという。「カーテンに関しては、言われなければ誰も気がつかないくらい非常に複雑な構造になっています。実際に現物を見てもらおうと“そういうことか”とわかるはず」と西澤氏。細部へのこだわりが建物の調和をより際立たせている。

「京都市京セラ美術館」のカーテンの特徴

01 美術館の新しさを印象付ける色に

重ねた3層のテキスタイルのうち、窓ガラス越しに見える外側部分は光沢のあるオフホワイトの生地を採用。新築の建物の新しさを強調している。

02 生成りのレースが経糸を優しく透かす

室内側の生地には、マットな薄いレースを採用。利用者に落ち着きを与えると同時に、挟まれた経糸がレースを通して見えることで独特のテクスチャーを楽しめる。

03 独特の表情をつくる鍵となった“経糸”

3層の中央には経糸を入れ、上下を織り止めた構造になっている。繊細な経糸の固定・縫製は特殊な技術を要し、依頼した機屋にとっても初めての試みとなった。

西澤さん、
なぜこの建材を採用したのですか？



建築の解釈をレイヤーで表現

安東さんは建築に対して造詣が深く、多くの建築家から絶大な信頼を得ているクリエイターの一人。「青森県立美術館」の時に一緒に、今回もお願いしました。「京都市京セラ美術館」は、過去の建築の痕跡を残しながら「層を重ねるように」現代の姿に改修するプロジェクトでしたが、三層のレイヤーで表現されたカーテンはまさにコンセプトに合ったものでした。いろいろとお話させていただくなかで、我々の考えを汲み取り、プロジェクトのことを理解してくださっていたのだと思います。平面の模様やパターンだけでないアプローチ方法を持っているところに、安東さんがこれまで培った経験や技術が裏打ちされていると感じました。



メーカーさんへ聞いた / 建材開発秘話

お話を伺ったのは…
テキスタイルデザイナー
安東陽子さん



明るさを保ちつつ表情をつける

建物の外から見える表情と、建物内にもたらす効果がそれぞれ最適になるように考えた結果、布を3層に重ねるアイデアになりました。半透明で光沢のあるポリエステルをカーテンの外側に採用し、光が当たったときの影が美しく見えるよう内側には経糸を入れることを考えました。外の光を取り入れつつ、表情のあるカーテンができたと思います。元々西日対策用のカーテンとして依頼されたのですが、機能性だけでなく光の美しさも楽しめるカーテンを提案できたことが嬉しいです。

株式会社 安東陽子デザイン

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-12 ヴィラ・パルテノン5C
TEL 03-6434-0413 FAX 03-6434-0423
URL www.yokoandodesign.com/

建材ナレッジシステム GPanda

お取引のある建材流通会社・メーカー様から

こんなお悩みを
聞いたことはありませんか？

取り扱い商材が多すぎて、
特徴を伝えきれない

法律や制度の変化を、
把握するのが大変

新人への、
ノウハウ共有が難しい



こういったお悩みは
建材ナレッジシステム「GPanda」が解消します。

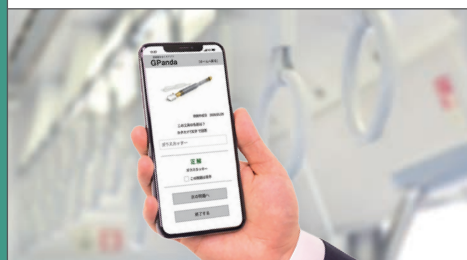
自社専用問題で
建材の違いを
分かりやすく学べる



動画や画像などで
ニュアンスまで
リアルに分かる



スマホで使えるから
スキマ時間に
効率よく学習できる



利用料金
(1ID)

月額 **1,000円** (税抜)

※DPA会員様は **50%OFF** でご利用いただけます。

お申し込みで、建築の基礎問題を
無料でプレゼント!

無料体験は
こちらから



お問合せは
こちらから

0120-58-0151

担当 橋本・平岡 受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

ウェブサイトからのお問合せはこちら

建材ナレッジシステム GPanda

<https://introduction.gpanda.cloud/case/1/>



建築建材DPA
デジタルプロモーション協会
<https://architecture-dpa.com/>

建材でカーボンニュートラルに貢献

建材ナレッジシステム「GPanda」は、
建築建材デジタルプロモーション協会(DPA)が提供するサービスです。

ARCHITECT'S

Q&A



西澤徹夫が選ぶ5つの建材

あの建築家はどんな建材を使って、どんな価値観を持っているのだろう？
そんな、聞きたくても聞けない“ここだけの話”
建築家がテーマに沿って特別に語ってくれました。

Q1

メーカーのアイデアが光る建材は？

A 超速硬化ウレタン



株式会社ダイフレックス

〒163-0825
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F
TEL 03-5381-1555 FAX 03-5381-1566
URL www.dyflex.co.jp/

カタログ 送付可 サンプル 提供可 見積 作成可

設計の自由度が広がる
防水材

平らな屋根や屋上を防水する際、防水層をパラ
ペットまで立ち上げ、立ち上げた部分とコンクリ
ートとの隙間に水が入らないよう笠木をかけるのが一
般的です。しかし、超速硬化ウレタンはコンクリ
ート躯体との密着性や熱伸び率が高いため、笠木を設
置する必要がなく、塗ったままで大丈夫なのです。
例えばファサードの一番上を切りっぱなしのように
見せることもできるなど、設計の自由度が広がるう
え、笠木がない分費用も抑えられます。現在建設中
の「八戸市美術館」で使っていますが、今後もぜひ
使いたいと思っています。

Q2 ダイナミックな施工が可能な建材は？

A 特注移動棚



日本ファイリング株式会社

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-2 (新御茶ノ水アーバンビル)
TEL 03-5294-3011 FAX 03-5294-3012
MAIL k.takahashi@nipponfiling.co.jp
URL www.nipponfiling.co.jp/



閉架書架製作の技術を駆使した 巨大な移動棚

「八戸市美術館」には、建物の中央部分に「ジャイアントルーム」を設けています。エントランスやロビーであり、イベントスペースやプロジェクトルームでもある、パブリックな空間で、美術館を利用する人たちの“交流の場”としての役割を果たすものです。その空間に幅6m、奥行き1m、高さ2.4mの移動棚を4つつくりました。日本ファイリングさんは閉架書架製作で実績があるメーカーということもあり、大変きれいな仕上がりになりました。棚としてはかなり規模が大きなものなのですが、さすがの技術力だなと思いましたね。

Q4 素材が活かされた建材は？

A イストフロン



株式会社 I.S.T

〒520-2153
滋賀県大津市一里山5-13-13
TEL 077-543-2211 FAX 077-543-0274
MAIL fgc@istcorp.jp
URL www.istcorp.jp/



不燃の、施工しやすい 吸音ボード

イストフロンは不燃性のカラー糸を風合い豊かに織り上げたファブリック素材です。イストフロンの背面にグラスウール製のボードを貼り付けると、吸音材として空間内の音響効果を自由に調節することが可能です。「八戸市美術館」では「ジャイアントルーム」の吸音材として使用しています。工夫した点は吸音材に凹凸を付けたこと。ただボードを貼り付けただけではのっぺりしてしまうのですが、専用のジョイナーを使い山型に施工することで意匠的なアクセントになるうえ、表面積が増えるので吸音性もさらに高まりました。不燃でかつ施工も簡単できるので、便利な建材だと思います。

Q3 コストパフォーマンスが良いと感じた建材は？

A ホーローホワイトボード



株式会社 勉強堂黒板製作所

〒038-0042
青森県青森市新城平岡961-2
TEL 017-763-3177 FAX 017-763-3175
MAIL info@benkyodo-kk.jp
URL www.benkyodo-kk.jp/



幅広いサイズに対応した 黒板専門メーカー

Q2.で紹介した特注移動棚の扉部分に巨大なホワイトボードを設置しました。勉強堂さんは東北6県を対象に各種黒板を扱う青森県のメーカーなのですが、価格が安いうえに大変きれいにつくってもらいました。「八戸市美術館」は「ジャイアントルーム」に重きを置いた美術館で、常に館内でワークショップやレクチャーなどの活動が行われることを想定しています。今後、このホワイトボードもアーティストや来館者、スタッフなど多くの人に活用されるのではないかと考えています。

Q5 新技術が使われている建材は？

A レンガタイル



株式会社 LIXIL

〒136-8535
東京都江東区大島2-1-1
TEL 0120-179-400
URL www.lixil.co.jp/



経年したものにも馴染む 風合いと施工技術

「京都市京セラ美術館」の本館は80年以上経過していたため、部分的にファサードのタイルが剥落しかけていました。その部分を新しいタイルに置き換えるため、施工者から紹介されたのがLIXILさんの製品です。ランダムに置き換えたタイルは色の薄いものから濃いものまで5種類。施工の跡もきれいに隠れており、どれが古いタイルでどれが置き換えたものなのか、近くに寄ってもわからないほど美しい仕上がりになったと思います。メーカーとしての対応力は申し分ないですし、多治見に工場があるので、京都からも割と近いこともよかったですね。

CLASS1 MONIKEN

新製品を中心とした
完全無料の建材モニター企画

ご応募いただいた方の中から、
抽選で製品をモニタープレゼントいたします。



CLASS1 ARCHITECT
PORTAL

アプリダウンロードで今すぐ応募



STEP 1

アプリから応募



STEP 2

当選通知が来る



STEP 3

製品が届く



STEP 4

モニター開始



STEP 5

レビュー・写真を送信

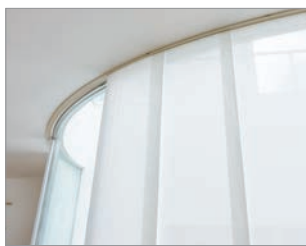
👍 こんな建材が無料で試せます

モールガラス



アンティーク調の空間が引き立つ
ストライプ柄デザインガラス

ZIPrail® Screen



コンパクトな収納性が特徴の
間仕切りシステム

ルーフラミテクト®



湿気を逃がし長持ちする屋根をつくる
“透湿性”ルーフィング材

🗨️ 当選された方の施工事例



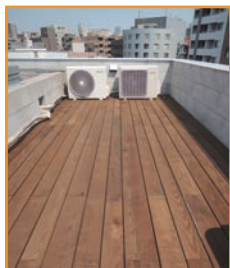
使用製品
エステックウッド
アッシュラフ

当選者: 建築士N様

事務所のビルに採用しました。荒々しくも気品のあるウッドデッキとなり満足です。変色していく過程にも期待ができます。



Before



After

モニター建材掲載希望の

メーカー様
募 集 中

詳しくはこちら ▶



Vol.15 読者アンケート

右のQRコードよりアンケートにご協力いただいた皆さまには、
弊社の関連会社であるOOKABE GLASSのガラス・鏡販売サイトに利用できる**10%OFF**クーポンをプレゼントいたします。
更に、ガラス販売サイト内の「OOKABE GLASS会員」にご登録いただくと、無料でデザインガラスのサンプルアソートBOX（通常税込10,780円）をプレゼント！



SPECIAL THANKS

Architect

西澤徹夫様

Manufacturer

旭ビルウォール株式会社
日本興業株式会社
株式会社 安東陽子デザイン
株式会社ダイフレックス
日本ファイリング株式会社
株式会社 勉強堂黒板製作所
株式会社 I.S.T
株式会社 LIXIL

Architecture

京都市京セラ美術館

Photo

新建築社写真部(表紙/P5)
前谷開様(P4/P9、11、13上の顔写真/P15上)
阿野太一様(P6-7/P12/P13上)

CREDIT

発行	OOKABE Creations株式会社
発行人	大壁勝洋
ディレクション	岩崎祐輔
編集	嶋田明莉
文	石原藍・坪井千晶
デザイン・DTP	山本実紗・勝木遥菜・伊藤周平・三枝清美(株式会社ウララコミュニケーションズ)

【編集後記】

取材で西澤さんの考える「保存」のお話を聞いた時、私はパソコンやスマートフォンのバックアップを取る時のことが思い浮かびました。「これまでの活動の全てを記録し、いつでもそこに帰ってこられる」ことが「保存」。私が取材前に持っていた「保存」のイメージとは全く異なるものでした。言葉一つにもその言葉を発する人自身の意味と意図があり、弊誌はそれを履き違えないよう制作をしていかなければならないと改めて感じました。

掲載されている情報はすべて発刊当時のものです。各メーカー様へのお問い合わせの際には「CLASS1 ARCHITECTを見た」とお伝えください。サンプル送付・試作等の対応については有料の場合がございますので、お問い合わせ時にご確認ください。

「CLASS1 ARCHITECT」はフリーマガジンから書籍にリニューアルしました。
紙冊子版については Amazon よりお求めください。
アプリでは引き続き無料でお読みいただけます。

Amazon 販売ページ



CLASS1 ARCHITECT
PORTAL

プロポーザル情報・建築士の求人情報・建材の比較記事など、建築士の方に役立つ情報を配信しています。無料会員登録がまだお済みでない方は、右のQRコードからぜひご登録をお願いいたします。



建築建材DPA
デジタルプロモーション協会

本誌は建築建材デジタルプロモーション協会(DPA)が運営しています。本誌への広告掲載についてはDPAにお問い合わせください。

<https://architecture-dpa.com/>





9784991208829



1923452003001

ISBN978-4-9912088-2-9

C3452 ¥300E

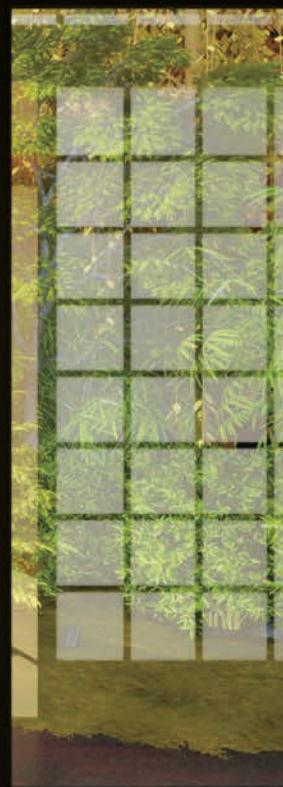
景色を魅せるのが得意です。



夜景専用ガラスTEIEN(庭園)



一般的なガラス



ガラス越しの景色をありのままに見せる
夜景専用ガラスTEIEN(庭園)

反 射 率

1%

(一般的なガラス 8%)

透 過 率

98%

(一般的なガラス 89.5%)

建材情報とネット販売

CLASS1
SELECT

販売元: OOKABE GLASS株式会社

00 0120-58-0151

受付担当: 意元 副担当: 橋本



絶賛発売中!

<https://class1.jp/>
(会員登録必要)